

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』
実施レポート

学校名	熊本市立川尻小学校	実施日	平成26年1月～2月
担当教員名	竹中 智	実施学年・人数	3年生 74名

学校・学級紹介	<p>学校のある川尻は、熊本市の南部にあり、古くから港町や宿場町として栄えた街にあります。今でも石造りの船着き場や藩の米蔵、古い町並みが残っています。</p> <p>そのような歴史と伝統ある街にある川尻小学校は、全校児童487名の、広い運動場と緑に囲まれた学校です。「あいさつ・花・きれい」を合言葉に、児童会のマスコット「ラックルくん」のキャラクターとともに、緑化活動に力を入れています。</p> <p>3年生74名は、元気いっぱい、友だち思いの子どもたちです。休み時間は友だちをさそって外でボール遊びをしたり、長縄をしたりしています。雨の日は体育館で、74名みんなでドッジボールをしたりして、体を動かしてしています。2学期はプレルボールやキックベースボールでボールを使った運動を楽しんだり、ルールを工夫して運動したりして楽しんできました。</p>
実施内容	<p>① オリエンテーションで「タグラグビーオフィシャルウェブサイト」から、動画の視聴。用具の使い方の確認。チーム決め、学習の流れ確認。</p> <p>② ボールに慣れる運動、タグ取り鬼ごっこ、試しのゲーム</p> <p>③～⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールタグ取り鬼、三角ランニングパス ・1対1ボール運びゲーム 2対1ボール運びゲーム ・4対4ゲーム ・ふりかえり、後片付け <p>⑦ タグラグビー大会</p>
指導のポイント	<p>—学習前—</p> <p>○「タグラグビー」に入る前にベルトにタグをつけての鬼遊び等を実施し、用具に慣れさせた。</p> <p>—学習中—</p> <p>○「タグラグビーオフィシャルウェブサイト」の活用。</p> <p>○「基本的なルール」や「学習の流れ」、「総当たり組み合わせ表」を廊下の壁に掲示した。</p> <p>○ボールにたくさんふれることができるように、トライできるように1チームを4人(5人)とし、コートをつつ作った。(授業はクラス単位)</p> <p>○毎時間、「学ぶ動き(運動を楽しむための動き)」を明確にして、授業を組み立てた。</p> <p>○各チームで「ファイトコール」「トライした時のかけ声」を考えさせて、チームの団結、協力を図った。</p> <p>○「タグ取り制限なし」で全員がトライできるようにし、タグを取られた回数で得点を決めた。また、全員がトライできた場合のボーナス点も加えた。(いつも同じ人ばかりにならないように)</p> <p>○「タグラグビー大会」では、兄弟チームがそれぞれゲームで応援し、賞状もお互いで作り合うようにした。兄弟チームのいいところを賞状の言葉にした。</p> <p>—学習後—</p> <p>○タグの貸出をして、休み時間も「タグラグビー」で遊べる・運動できる環境を作った。(運動場のポイントにマーカーを置いて自分たちでコート作りができていた。)</p>

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』
実施レポート

感想・印象 今後の展望	<p>昨年度からの持ちあがり、2年生での「しっぽ取り遊び」からの流れで、「タグ取り鬼」と自然に流れていき、学習に入ることができた。難しいボール操作もなく、3年生の子どもたちも最初から楽しく運動することができた。全員がトライできるように、タグ取り制限なしで、同じ人ばかりにならないようなボーナス得点も取り入れたことで、多くの子どもがトライを体験し、笑顔を見せてくれた。</p> <p>本校では年間計画で、5年生にタグラグビーを入れていたが、今回から3年生からも取り入れたことで、さらに5年生で質の高いランやパス、チームワークが生まれるのではないかと期待しているところである。また、夏に県の「タグラグビー指導者講習会」に行っていたことで、指導にも自信を持って臨むことができたのもよかった。</p>
----------------	--

※コメント記入欄のスペースに制限はありませんので自由にご記入ください。また、他形式でのご提出でも結構です。

【お願い】

実施レポートは、今後小学校の先生方がタグラグビーの授業を行う際の参考にするとともに、学習教材としたタグラグビーの優れた点を広めることを目的としています。実施レポートの一部は、ラグビー協会ホームページや機関誌、制作物等でご紹介させていただきますので、公開可能な範囲でのご記入をお願いいたします。